

自立型2輪ロボット技術を活用したビジネススタイルの変革

# 最新ロボット技術の活用による 業務効率化を検討しています。

背景・目的

- Segway Roboticsが開発した『Loomo』は、観光などにも利用されているセグウェイをベースとして上半身にカメラ等の複数のセンサーや通信機能を配した汎用ロボットです。
- 当社では、電気事業における様々なフィールド・業務を対象に、
  - (株) hapi-robo stと『Loomo』による業務効率化の概念検証
  - (株) STUFFと遠隔操作ロボットの試作評価
 について推進しています。

特長

- 優れた移動能力を有するセグウェイがベース  
Loomo : 速度17km/s、航続距離29km
- 周りの状況をカメラで確認しながら障害物を避けて動くことができる(Loomo)。
- 汎用ロボットを用いることで導入コストを低減化

用途

- 巡視点検や荷物運搬などのサポート
- 倉庫の警備や在庫管理等への活用など



Segway Robotics製 『Loomo』 (hapi-robo st)



Segway ninebot mini pro

本体重量 約12.8Kg  
最高時速 約18km/h  
航続可能距離約30km  
耐荷重量 約100kg  
BLE通信による制御可能

